

目次

はじめに 2

本書の読み方 8

紫式部と『源氏物語』、そして訳本について 9

『源氏物語』五十四帖一覽 16

- 一 幼くして死別した薄幸の母・桐壺更衣くヒーローの条件「母の不在」く 17
- 二 母と生き写しの女性・藤壺との出会いく母恋いから禁断の恋へく 22
- 三 光源氏と良きライバルの頭中将く男四人寄つたら女の話く 28
- 四 人妻の鏡？ 光源氏になびかない空蟬 33
- 五 親近感で男を惑わす無邪気な夕顔く男がつい守ってあげたくなる女性く 39
- 六 光源氏の正妻・葵の上く夫に冷たいのには訳があるく 46
- 七 光源氏好みの女性に育てられた紫の上く彼女は本当に幸せだった？ 51
- 八 かつての不美人、末摘花。二十一世紀なら世界的ファッションモデル!? 56
- 九 六十を過ぎて光源氏に色目を使うあっぱれな老女・源典侍 62
- 十 アヴァンチュールのスリル感を楽しむ、大胆不敵な朧月夜 67
- 十一 嫉妬に狂い、生霊と化す六条御息所く美貌・地位・教養の三拍子がアダにく 74
- 十二 すれ違いが多かった夫婦生活の終わりく葵の上の死く 81
- 十三 光源氏の存在を憎む野心家・弘徽殿女御 88
- 十四 目立たずに光源氏を癒し支える花散里 94
- 十五 左遷先の現地妻・明石の君く最後に「勝ち組」となるく 100
- 十六 光源氏の都帰り、女君たちとの再会 108
- 十七 母に容姿は似ているが、正反対の性質の秋好中宮 114

- 十八 朝顔の姫君への恋慕と息子・夕霧の事件 119
- 十九 夕顔の娘・玉鬘 124
- 二十 養父・光源氏の挙動に悩む玉鬘 129
- 二十一 養母・紫の上を慕う夕霧、若き日の自分を重ねる光源氏 135
- 二十二 玉鬘の進路が決定！ ～職業婦人としての生き方～ 141
- 二十三 どんでん返し！ 強引な鬚黒大将 ～嫉妬に狂った正妻と別れる～ 147
- 二十四 人生の頂点を迎え、誰よりも時めく光源氏 154
- 二十五 夫が還暦で若い女房をもらおう!? ～糟糠の妻は報われないのか～ 161
- 二十六 光源氏の留守中に起こった予期せぬ出来事 167
- 二十七 おぞましい事件のその後 ～巻き込まれる夕霧～ 173
- 二十八 落葉の宮に熱を上げる真面目人間・夕霧と激怒する妻・雲居雁 179
- 二十九 出家できずに亡くなる紫の上、放心状態の光源氏 185
- 三十 匂いたつイケメンたち ～薫と匂宮～ 192
- 三十一 真木柱と玉鬘のその後 198
- 三十二 妹思いのしつかり者・大君 204
- 三十三 八の宮の死後、狂いだす歯車 210
- 三十四 大君亡き後、翻弄される中の君 217
- 三十五 二人の貴公子に愛された浮舟 223
- 三十六 浮舟のその後 ～こりない男たち～ 229

卷末資料① 平安京内裏図 235

卷末資料② 人物関係図 236

引用・参考文献 239